

霞城

第20普通科連隊広報紙
発行所/山形県防衛協会



隊区担当中隊

- 第2中隊
- 第1中隊
- 重迫撃砲中隊
- 第3中隊
- 第4中隊



令和3年
No.700



記念撮影(幹部のみ)

第20普通科連隊 創立65周年記念

広報紙 霞城700号発刊記念

連隊創立65周年記念式



式辞

連隊創立65周年の節目を迎え、隊員諸官おめでとう。
本日ここに第20普通科連隊創立65周年記念式を挙げる事は、本職、また所属する全隊員にとっても光栄の極みであり、深く喜びとするところである。

本来ならば、多数のご来賓のご臨席を賜り、部内外のご支援・ご協力を頂く関係者及び関係団体の平素の協力に對して、感謝の意を表すところであるが、新型コロナウイルス感染症の影響により検討した結果、感染拡大防止を図る為このように所属隊員のみで開催する事とした。さて、連隊は昭和31年1月25日、厳冬の青森において編成され、その年の12月、当町駐屯地に移駐し、山形県全域の防衛警備及び災害派遣を担う重要な責務を担う部隊として、不変的役割を著実に果たしつつ今日に至っている。

創隊以来65年間、県民の皆様のご支援とご協力のもと、歴代連隊長を始め多くの先輩諸兄並びに全隊員のたゆまぬ努力と、厳しい訓練の積み重ねにより輝かしい伝統と優れた実績をもつ逞しい部隊として成長してきた。

この間、災害派遣の主な活動として昭和51年10月に発生した酒田大火、平成7年の阪神淡路大震災、平成20年岩手・宮城内陸地震、平成23年東日本大震災、平成28年熊本地震、近年においては、平成30年8月の豪雨により甚大な被害が発生した戸沢村への給水・給食支援、令和元年6月に発生した山形県沖を震源とする地震の情報収集、令和元年の台風15号及び台風19号における生活支援・災害廃棄物の撤去等、さらに令和2年7月山形豪雨による断水被害のための尾花沢市及び大石田町における給水支援等の災害派遣活動を実施した。

また、国際貢献活動として平成16年に第4次イラク復興支援群、平成27年 南スーダン国際平和協力業務に連隊が主力として活動した。さらに中東・コソボ・高原や様々な地域において活動する国際貢献活動に多くの隊員を参加させ、国際社会の平和に寄与している。

近年のわが国を取り巻く情勢は、中国の軍事的近代化や宇宙・海洋進出の活発化及び北朝鮮の軍事動向は、我が国の安全に対する重大かつ差し迫った脅威であり、地域及び国際社会の平和と安全を著しく損なうものとなっている。また、ロシアについても北方領土における軍事施設の強化や最新の部隊の配置など、わが国を取り巻く情勢はより一層厳しさを増し、言わば平時でも有事でもない「グレイゾーン」と言われる状況に置かれているのが現状である。また国内においては大規模地震の発生はもとより異常気象等もたらす大規模災害が何時発生するか予断を許さない状況である。さらに新型コロナウイルス感染症拡大は我が国の安全保障体制を揺るがしかねない脅威であり、未曾有の困難であると認識している。

また、昨今の災害派遣活動においては鳥インフルエンザや豚熱等による防疫活動、台風及び豪雨による倒木除去や災害廃棄物の撤去、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う医療体制の強化支援等、自衛隊の役割が拡大している。防衛計画の大綱によって示された領域横断作戦は陸海空という従来の領域のみならず宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域を組み合わせたものとなっている。このような状況にお

いて脅威に対する実行的な抑止及び対処を可能とするためには、新たな領域を活用して攻撃を阻止・排除することが不可欠であり、新たな領域における能力と陸海空という従来の領域の能力を有機的に融合した「領域横断」作戦を行うことが死活的に重要となっている。

しかしながら自衛隊の任務は、我が国の平和と独立を守り国の安全を保つことであり、これは将来においても変わらないことではない。また、陸上自衛隊の使命も「ファイナル・ゴールキーパー」として国土防衛の最後の砦としての役割は不変である。

そのため、我が20連隊は、日露戦争を始め過去のいくたの困難に身を挺して戦ってきた山形歩兵第32連隊 霞城連隊の意志を継承し、いかなる任務にも、即応できる態勢を整え、適切に対応できるよう愚直に日々の訓練や準備を継続しなければならぬ。また、服務の本旨

「隊員は、我が国の平和と独立を守る自衛隊の使命を自覚し、一致団結、厳正な規律を保持し、常に徳操を養い、人格を尊重し、心身を鍛え、技能を磨き、強い責任感を持って専心その職務の遂行にあたり、事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に努め、もって国民の負託にこたえることを期するものとする。」これを体現する隊員・部隊を我々は育成して、常に思いやりをお互いに持ちつつ、団結強固・士気が高い健全な部隊としても存在しなければならぬ。そして我々は県民をはじめ地域の皆様

の信頼と期待に応えられる精強な部隊であるべく、全隊員が一丸となり精進を重ね、実力を蓄えて行かなければならぬことを銘記してもらいたい。

結びに、引き続き連隊に期待されている不変的な役割を本職を先頭に連隊一丸となり着実に果たしていくことを誓い式辞とする。

令和3年2月1日

第20普通科連隊長

1等陸佐 梶 恒一郎



連隊長式辞

第20普通科連隊

令和3年「霞城」2月号 Contents

- 2ページ ・コロナ禍で祝福 「連隊創立65周年記念式及び感謝状贈呈式」を実施
- ・3名が訓練開始！「令和2年度9月入隊新隊員特技課程及び第16期一般陸曹候補生課程後期教育 訓練開始式」を実施
- ・協力内容を確認 「第50回新庄雪まつり」協力に関する協定書調印式
- 3ページ ・大会の円滑な運営に寄与 「令和2年度山形県総合スキー(ジャンプ)大会」に協力
- ・新成人 自覚新たに 「令和2年度駐屯地成人行事祝賀式」に参加
- ・ようこそ！20連隊へ！「一般幹部候補生着隊申告」を実施

- ・陸曹候補生指定及び一般陸曹候補生入校予定者指定おめでとう！
- 4ページ ・今年も来たぞ！自衛隊の巨大雪像！「第50回新庄雪まつり」に協力
- ・イベントの運営に協力「第9回天童高原スノーパークフェスタ」に協力
- ・寒さに負けず、日々奮闘！
- 「令和2年度9月入隊新隊員特技課程及び第16期一般陸曹候補生課程後期教育」
- ・定年退官者紹介 ・各種表彰 ・3月行事予定

2021 February 2

コロナ禍で祝福

「連隊創立65周年記念式 及び感謝状贈呈式」を実施

【令和2年度 感謝状贈呈者】

- (連隊OB会)
 - ・本部・本部管理中隊支部 永岡 正憲 様
 - ・第1中隊支部 大滝 俊一 様
 - ・第2中隊支部 奥山 隆弘 様
- (協力企業)
 - ・株式会社カキザキ山形国際ホテル 様
 - ・株式会社ジャパン保険企画 様
 - ・明治安田生命保険相互会社山形支社 様
- (援護功労企業)
 - ・第一貨物株式会社 様
 - ・ビューテック株式会社 様
 - ・関東事業所米沢営業所 様
- (個人・団体功労者)
 - ・食べ処 秋田人 様

連隊はコロナ禍においても感染症対策を確行し、厳かに記念日を祝うとともに、引き続き、連隊に期待されている役割を全うし、真摯な姿勢で任務に邁進していくことを誓った。

2月1日(月)、神町駐屯地体育館において「連隊創立65周年記念式」が行われ、各中隊10名が参加した。連隊は昭和31年1月25日、厳冬の青森において編成され、その年の12月、神町駐屯地に移駐し、現在まで地域とともに歩む郷土部隊、そして山形県全域の防衛警備及び災害派遣を担任する重要な責務を担う部隊として歩みを重ね、令和3年1月25日をもって記念すべき65周年を迎えた。

式では、連隊長(梶1佐)が「本日ここに第20普通科連隊創立65周年記念式を挙げてきた事は、所属する全隊員にとっても、光栄の極みであり深く喜びとするところである。隊員諸官おめでとう」と式辞を述べ、65周年を祝うとともに、「地域の皆様の信頼と期待に応えられる精強な部隊であるべく、全隊員が一丸となり精進していこう」と、連隊を奮起させた。

また、3日(水)には2号隊舎作戦室において連隊創立65周年に伴う感謝状贈呈式が行われ、連隊OB会本部・本部管理中隊支部 永岡 正憲様、第1中隊支部 大滝 俊一様、第2中隊支部 奥山 隆弘様の3名に連隊長より感謝状が贈呈された。そのほかにも、4日(木)には、20連隊の発展のため永年にわたる御尽力と御協力を頂いた、株式会社カキザキ山形国際ホテル様、有限会社ジャパン保険企画様、明治安田生命保険相互会社山形支社様、食べ処秋田人様に連隊長が、第一貨物株式会社様に広報室長(連隊長代理)が、17日(水)にはビューテック株式会社 関東事業所米沢営業所様に第1科長(連隊長代理)がそれぞれ訪問し、感謝状を手渡した。



感謝状贈呈式において記念撮影
(右から：奥山隆弘様・大滝俊一様・永岡正憲様)



食べ処 秋田人 様



明治安田生命保険相互会社 山形支社 様



有限会社ジャパン保険企画 様



株式会社カキザキ山形国際ホテル 様

3名が訓練開始！「令和2年度9月入隊新隊員特技課程及び第16期一般陸曹候補生課程後期教育訓練開始式」を実施

1月12日(火)、連隊教場において「令和2年度9月入隊新隊員特技課程及び第16期一般陸曹候補生課程後期教育訓練開始式」を実施した。式には新隊員3名が参加し、新隊員を代表して荒澤大成2士(村山市出身)が申告を実施した。引き続き、執行者(連隊長・梶1佐)が訓示を述べ、「基本・基礎の修得」「同期の絆



新隊員3名！左から(荒澤2士、小形2士、氏家2士)

を大切にせよ」「安全管理・健康管理」の3点を要望し、「若々しい諸官の溢れる熱意と惜しみない努力をもって、真に役立つ自衛官に成長することを祈念する」と激励の言葉を贈った。

荒澤2士は「3ヵ月間、同期と協力しながら軽火器の基本基礎をしつかりと学びたい」と述べ、決意を新たにしていた。



連隊長訓示

協力内容を 確認

「第50回新庄雪まつり」 協力に関する協定書調印式

1月13日(水)、連隊長室において2月13日(土)から14日(日)までの間、新庄市最上中央公園において行われる「第50回新庄雪まつり」における第20普通科連隊の協力に関する協定書の調印式を実施した。

当日は、実行委員長 高橋臣也様、副実行委員長 石川竜美様、事務局長 大橋史広様、設営室長 越後和晃様が来隊され、第20普通科連隊の協力に関する協定書を取り交わした。

連隊は本イベントにおいて、第1中隊 藤盛曹長を協力隊長とし、24名がメイン雪像制作及びメインステージの制作、車両展示、音楽演奏(第6音楽隊が支援)、運営に関する協力について協力する。

記念撮影(右：実行委員長 高橋 臣也様)



役員と綿密な調整を行う協力隊長(第3中隊:永岡准尉)

急斜面での作業も 確実に行う協力隊

1月14日(木)から17日(日)までの間、山形市蔵王ジャンプ台で開催された「令和2年度山形県総合スキー(ジャンプ)大会」に協力した。

本協力は、協力隊長(第3中隊 永岡准尉)以下10名が参加し、協力内容は飛距離判定、競技会場及びコース整備・維持、気象計測と多岐にわたった。

協力隊は14日(木)に現地入りし、

大会の円滑な運営に寄与

「令和2年度山形県総合スキー(ジャンプ)大会」に協力



連隊長現地指導



真摯に取り組む協力隊

ようこそ! 20連隊へ!

「一般幹部候補生着隊申告」を実施

1月28日(木)、2号隊舎周辺において「一般幹部候補生着隊申告」を実施した。

1月27日付けで着隊した一般幹部候補生3名を各中隊の隊員が盛大な拍手で出迎えるとともに、連隊長(梶一佐)が「今日から同じ20連隊の隊員として精進してもらいたい」と述べ、一般幹部候補生たちを激励した。申告時には、緊張した様子を見せ



盛大な拍手で出迎え

ながらも、節度ある基本教練及び大きな声で申告するなど凛々とした姿が印象的であった。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のために集まることを中止しているため、各中隊に挨拶回りをし、「山形県に来たからには精一杯スキーを頑張る、曹士の方々と切磋琢磨していきたい。何事にも全力で取り組むのでよろしくお願ひします」と、意気込みを語っていた。

着隊した一般幹部候補生は、3月下旬まで各中隊で隊員たちと生活をともにし、各種訓練を経験して、幹部自衛官としての第一歩を踏み出す。

申告

一般幹部候補生紹介

<p>小松 奈央(なま) 23歳 出身 群馬県 獨協大学</p>	<p>金子 貴寛(きかん) 23歳 出身 群馬県 青山学院大学</p>	<p>田口 愉斗(たくと) 23歳 出身 山梨県 防衛大学校</p>
--------------------------------------	---	--

新成人を激励する執行者(山本陸将補)

新成人 自覚新たに

「令和2年度駐屯地成人行事祝賀式」に参加

1月15日(金)、神町駐屯地体育館において行われた「令和2年度駐屯地成人行事祝賀式」に連隊から59名(成人隊員は不参加者含め64名)の新成人が参加した。

式では、執行者(駐屯地司令・山本陸将補)や来賓



新成人らしく凛々しい姿で式に臨む隊員たち

者からお祝いの言葉を頂くとともに、昨年成人した先輩隊員から激励の言葉が贈られた。新成人隊員たちは、それぞれの言葉を真剣に聞き、成人としての自覚を新たにしていた。

また会場には新成人たちが記念品として作成した「盃」が展示された。



取材に応じる第4中隊 太田龍馬士長

式終了後、報道各社が取材に訪れ、取材を受けた第4中隊 太田龍馬士長は「新成人として自衛官として自覚を持ち、日々の訓練に励んでいきたい」と抱負を語った。

示されており、隊員たちは各々「盃」に刻んだ抱負を見せ合うなど、会場は活気と笑顔で満ちていた。

第139期陸曹候補生

- 本部管理中隊 白幡 凱斗
- 第2中隊 佐藤 拓実
- 同 山科 英幸
- 第3中隊 佐藤 雄作
- 第4中隊 佐藤 春生

補生入校予定者

- 第1中隊 大場 俊輝
- 第4中隊 鈴木 健音
- 重迫撃砲中隊 清水 鈴音

「陸曹候補生指定及び一般陸曹候補生入校予定者指定おめでとう!」(2月1日付)

3月行事予定

- 5日(金) 令和2年度9月入隊新隊員特技課程及び第16期一般陸曹候補生課程後期教育 修了式
- 10日(水) 連隊定期表彰
- 12日(金) 離任式
- 15日(月) 令和2年度後定期定期異動 着任式

各種表彰

- 【第6師団長表彰】
○第3級賞詞
(令和元年度台風15号に伴う災害派遣の功績)
・本部管理中隊 2尉 阿部 剛之
(令和元年度台風19号に伴う災害派遣の功績)
・連隊本部 1尉 阿部 幸央
・同 3尉 横山 良平
- 【連隊長表彰】
○第4級賞詞
(令和元年度台風15号に伴う災害派遣の功績)
・本部管理中隊 1曹 内海 仁徳
・第2中隊 2曹 大沼 史明
・第3中隊 1尉 高井 良輔
・同 曹長 大石 賢治
・第4中隊 曹長 二瓶 浩明
(令和元年度台風19号に伴う災害派遣の功績)
・連隊本部 1尉 後藤 忠征
・本部管理中隊 1尉 高橋 清容
・同 曹長 平山 清二
・第2中隊 3佐 伊藤 敬二
・第4中隊 3佐 久我谷 朋宏
・同 大木 和幸
- 第5級賞詞
(令和元年度台風15号に伴う災害派遣の功績)
・本部管理中隊 准尉 佐々木 真奈美
・同 2曹 松田 稔
・第2中隊 2曹 水口 駿太
・第3中隊 2曹 東海林 洸矢
・第4中隊 土長 柏田 瑠衣
・同 3曹 山崎 晃央
(令和元年度台風19号に伴う災害派遣の功績)
・本部管理中隊 1曹 山口 朋也
・同 1曹 北川 忍
・同 1曹 武田 篤哉
・同 2曹 博行 博行
・同 2曹 田中 裕仁
・同 2曹 大澤 祐樹
・同 3曹 村山 一樹
・同 土長 釘持 一沙
・同 土長 古侯 智広
・同 曹長 藤盛 和昭
・同 2曹 細谷 大地
・同 2曹 文屋 龍児
・第2中隊 曹長 栗野 信也
・同 3曹 渡邊 忠雷
・同 土長 飯野 慎吾
・第3中隊 3曹 村山 拓磨
・同 3曹 菅野 統
・同 3曹 中川 立喜
・同 土長 佐藤 雄作
・第4中隊 2曹 秋葉 和一
・同 2曹 平山 太文
・同 3曹 安部 弥
・重迫撃砲中隊 1曹 青木 誠
・同 2曹 五十嵐 清和
- 【第2陸曹教育隊長より褒賞状】
(第205期陸曹上級課程 成績優秀)
本部管理中隊 1曹 佐々木 靖雄
- 【第2陸曹教育隊上級陸曹 教育中隊長より褒賞状】
(第205期陸曹上級課程 支援助教として)
第3中隊 曹長 池田 知和
- 【1月警衛勤務優秀らっぱ手】
第4中隊 土長 堀米 真生
(3日上番)
重迫撃砲中隊 土長 山口 莉瑚
(5日上番)
重迫撃砲中隊 土長 渡辺 草太
(12日上番)
本部管理中隊 3曹 後藤 政樹
(14日上番)
第4中隊 土長 富岡 和馬
(20日上番)
第3中隊 土長 阿部 優弥
(28日上番)

永年の勤務、お疲れ様でした。 定年退官者紹介

第2中隊
・高橋 清英 准尉
・1月16日付
・村山市在住

第2中隊
・本登 元章 准尉
・1月28日付
・山形市在住

重迫撃砲中隊
・新野 文博 1曹
・2月9日付
・朝日町在住

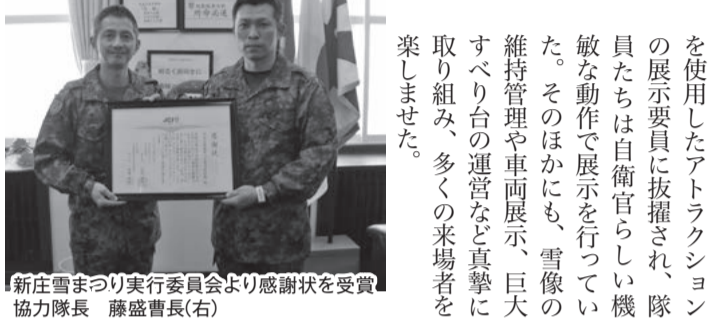


個人携帯対戦車弾射撃



雪像引き渡し式

2月13日(土)から14日(日)までの間、新庄市最上中央公園において開催された「第50回新庄雪まつり」に協力した。自衛隊の巨大雪像が完成し、12日(金)にはメイン雪像引き渡し式が行われ、主催者(新庄雪まつり実行委員会)に引き渡された。



新庄雪まつり実行委員会より感謝状を受賞 協力隊長 藤盛曹長(右)



夜間においても作業を実施



車両展示



第6音楽隊の演奏

寒さに負けず、日々奮闘！

2月10日(水)、王城寺原演習場(宮城県)において機関銃の実弾射撃及び個人携帯対戦車弾射撃を実施した。訓練中、厳しい寒気で空気が張り詰める中、新隊員たちは最後まで集中力を維持し、区隊長の指導の下、確実な動作

新隊員教育隊(教育隊長・副連隊長 浅野2佐)が担任する「令和2年度9月入隊新隊員特技課程及び第16期一般陸曹候補生課程後期教育」は、新隊員(軽火器)として基礎的な知識・技能を修得するため、日々訓練に励んでいる。

1月18日(月)には教育隊教場及び体育館において体力検定が実施され、新隊員たちは日頃の練習の成果を十分に発揮し、少しでも良い結果を残せるように一生懸命に取り組んでいた。



エンジンの使用方法を学び作業効率向上!

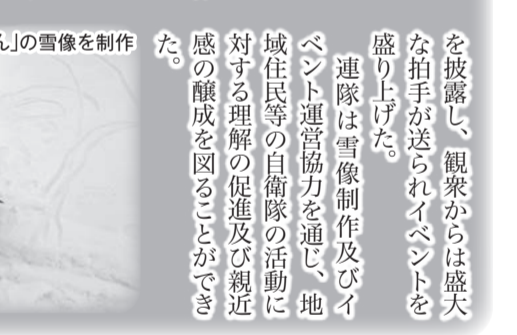
3月には訓練評価、35km徒歩行進訓練などが予定されており、5日(金)に行われる「修了式」まで各種訓練に精進して行く。



賑わいを見せた会場

2月8日(月)から13日(土)までの間、天童高原スキー場において「第9回天童高原スキーパークフェスタ」に協力した。

本イベントには、第2中隊 東海林2曹以下8名が雪像制作に協力した。雪像制作間、悪天候に見舞われる場面もあったが、隊員たちは強い責任感の下、真摯に取り組んでいた。また、昨年の暖冬に比べると積雪にも恵まれ順調に作業は進み、イベント当日までに雪像を完成させた。



天童高原マスコット「天ギンちゃん」の雪像を制作

「第9回 イベントの運営に協力 天童高原スキーパークフェスタ」に協力



スキー訓練隊によるデモンストレーション

13日(土)には、スキー訓練隊(教官 第4中隊 栗田曹長)が自衛隊スキーでのデモンストレーションを行い、素晴らしい滑降技術

を披露し、観衆からは盛大な拍手が送られイベントを盛り上げた。

連隊は雪像制作及びイベント運営協力を通じ、地域住民等の自衛隊の活動に対する理解の促進及び親近感の醸成を図ることができた。